

日本介護福祉士養成施設協会

令和5年度 第29回日本介護福祉教育学会

第2報

学会テーマ

「介護福祉士養成教育と地域

ー地域と結び付けた教育実践を3領域でどう展開するか」

- 開催日 令和6年2月17日(土)
- 主催 日本介護福祉教育学会
- 主管 日本介護福祉士養成施設協会・中国四国ブロック会実行委員会
- 後援 厚生労働省(予定)、文部科学省(予定)、日本社会福祉教育学会(予定)、  
日本介護学会(予定)、岡山県介護福祉士会(予定)

# 開催要項

## 1 テーマ

「介護福祉士養成教育と地域—地域と結び付けた教育実践を3領域でどう展開するか」

## 2 趣旨

今年度の日本介護福祉教育学会は、中国四国ブロック主管で、岡山県が担当し、ブロック事務局も含めた実行委員会が組織された。まずは学会テーマについての話し合いを重ねたが、参加校の問題意識は、「地域」をどう意識して介護福祉士養成教育に取り組むか、という点だった。

2018（平成30）年度の教育内容の改正で、「求められる介護福祉士像」として、「6. 地域の中で、施設・在宅にかかわらず、本人が望む生活を支えることができる」という項目が提示された。2007（平成19）年度カリキュラム改正時の「4. 施設・在宅（地域）を通じた汎用性ある能力」の内容が、より具体的に示されたと言えるだろう。

さらに、2019（平成31）年3月に各養成校に介養協から配布された『介護福祉士養成課程新カリキュラム 教育方法の手引き』（介護福祉士の教育内容の見直しを踏まえた教授方法等に関する調査研究事業報告書）では、3領域のそれぞれの目的に、「対象者の生活を地域の中で支える視点」が織り込まれている。

「人間と社会」では、従来と同様に「3. 対象者の生活を地域の中で支えていく観点から、地域社会における生活とその支援についての基礎的な知識を身につける。」とある。

「介護」では「2. 介護を実践する対象、場によらず、様々な場面に必要とされる介護の基礎的な知識・技術を習得する。4. 対象となる人の能力を引き出し、本人主体の生活を地域で継続するための介護過程を展開できる能力を養う。」とされ、介護実習では、あえて「教育内容のねらい」に「(1) 地域におけるさまざまな場において、対象者の生活を理解し、本人や家族とのコミュニケーションや生活支援を行う基礎的な能力を習得する学習とする。」が組み込まれた。

「こころとからだのしくみ」では、「3. 認知症や障害のある人の心身の機能が生活に及ぼす影響について理解し、本人と家族が地域で自立した生活を継続するために必要とされる心理・社会的支援についての基礎的な知識を身につける。」として、認知症の人を中心に据え、本人や家族、地域の力を活かした認知症ケアや、障害のある人の地域での生活を理解し、本人のみならず、家族や地域を含めた周囲の環境への支援の理解が求められている。

在宅や地域という視点は、介護福祉士養成教育開始当時から常に示されてきたが、十分に吟味されずに来た。

しかし、今、「地域共生社会」が叫ばれるほど、家族や地域のあり様も、その中で対象者のその人らしい生活を支えることや、そのための施設や事業所の求められる役割も大きく変化している。この中で、中核的存在としての役割を担うこれからの介護福祉士養成教育の責任は重いし、そのあり様が問われている。

今回の学会テーマを「介護福祉士養成教育と地域—地域と結び付けた教育実践を3領域でどう展開するか」としたのは、今年度の全国研修会のテーマである「介護福祉士養成施設の存在意義の再検討～介護福祉士の未来像を問う」に呼応し、あらためて介護福祉士の未来像に向けての具体的な教育実践を深めていくという私たちの覚悟でもある。多くの参加者の皆様と、一歩でも議論を前に進めたい。

3 日 時 令和6年2月17日(土) 9時20分～15時35分

4 会 場 Zoom ウェビナー

5 主 催 日本介護福祉教育学会

6 後 援 厚生労働省(予定)、文部科学省(予定)、日本社会福祉教育学会(予定)、  
日本介護学会(予定)、岡山県介護福祉士会(予定)

7 主 管 日本介護福祉士養成施設協会 中国四国ブロック会実行委員会

8 費 用 会員・一般2,000円、学生無料 ※事前申し込みが必要です。

# プログラム

時 間	内 容
9:20～9:30	<p>●開会式</p> <p>主催者代表挨拶 澤田 豊 (日本介護福祉教育学会会長)</p> <p>実行委員長挨拶 小林 達広 (第 29 回日本介護福祉教育学会実行委員長)</p>
9:30～10:00	<p>●「(仮) 介護福祉士養成のあり方検討委員会の進捗報告」(質疑応答 10 分)</p> <p>小笠原 靖治 (介護福祉士養成のあり方検討委員会委員長)</p>
10:05～11:05	<p>●基調講演</p> <p>テーマ「介護福祉士養成教育と地域 —地域と結び付けた教育実践を 3 領域でどう展開するか」</p> <p>講 師 元広島国際大学教授 上原 千寿子 氏</p>
11:10～12:40	<p>●パネルディスカッション</p> <p>テーマ「地域と結び付けた教育実践を 3 領域でどう展開するか — 3 領域からの問題提起—」</p> <p>パネリスト</p> <p>広島文教大学 人間科学部人間福祉学科 (人間と社会) 講師 棚田 裕二 氏</p> <p>高知県立大学 社会福祉学部社会福祉学科 (介護) 講師 辻 真美 氏</p> <p>新見公立大学 健康科学部地域福祉学科 (こころとからだのしくみ) 講師 村上 留美 氏</p> <p>コーディネーター</p> <p>元広島国際大学教授、元介護協中国四国ブロック代表理事、 平成 30 年度介護福祉士の教育内容の見直しを踏まえた教授方法等に関する調査研究事業検討委員会委員長</p> <p>上原 千寿子 氏</p>
12:40～13:30	<p>●昼休憩</p>
13:30～15:20	<p>●分科会発表</p> <p>4 分科会予定 (1 分科会あたり発表者 5 名の予定)</p> <p>発表時間 15 分 (質疑応答 3～4 分、交代 1～2 分) : 1 人当たり 20 分</p>
15:25～15:35	<p>●閉会式</p> <p>主催者代表挨拶</p> <p>次期主管挨拶</p>

### 大会参加申し込みについて

・大会参加申し込みは、以下の URL にアクセスして手続きをしてください。

> 会員・一般の皆様

<https://forms.gle/pPgEZ5K5XhW2X1JY9>



> 学生の皆様

[:https://forms.gle/WPTQH6XvV4A6zoA36](https://forms.gle/WPTQH6XvV4A6zoA36)



・参加申し込み受付：2023年11月1日(水)～2024年1月5日(金)

・参加費振込：2023年11月1日(水)～2024年1月5日(金)

### 分科会発表申し込みについて

・分科会発表申込は、以下のメールアドレスから手続きをしてください。

※詳しくは「第 29 回日本介護福祉教育学会 分科会発表申し込み(エントリー)について」参照

・分科会発表エントリー受付：11月1日(水)～12月22日(金)

分科会発表申し込みメールアドレス：[29gakkai@catherine.ac.jp](mailto:29gakkai@catherine.ac.jp)

### 研究発表抄録受付について

・分科会抄録原稿締め切り：11月13日(月)～12月22日(金)

※発表者の方には、申し込み受付後に、「発表申し込み受領並びに抄録原稿の様式と提出について」メールでお知らせいたします。

### 大会抄録・大会 URL の配信について

・2024(令和6)年1月中旬頃予定

## 第29回 日本介護福祉教育学会

### 分科会発表申し込み(エントリー)について

分科会発表の申し込みについて、メールで下記の「申し込み内容」をご記入後、件名に「分科会発表申し込み」と記入の上、お申し込みください。分科会発表申し込み締め切りは、**2023(令和5)年12月22日(金)**までです。

発表者の方には、お申し込み受付後に、「発表申し込み受領並びに抄録原稿の様式と提出について」メールでお知らせいたします。

分科会発表申し込みメールアドレス：[29gakkai@catherine.ac.jp](mailto:29gakkai@catherine.ac.jp)

#### 申し込み内容

- ・発表者氏名(ふりがな)、学会会員番号、所属、連絡先(電話番号、メールアドレス)
- ・共同研究者氏名(ふりがな)、学会会員番号、所属
- ・研究発表テーマ「主題」
- ・サブタイトル「副題」
- ・分科会発表申し込み締め切り後、分科会の割り振りをさせていただきます。

※当学会においては、正会員のみが発表可能です。

※非会員の方は発表できません。

※非会員の方は共同研究者になることができません。

なお、分科会発表申し込み後2～3日経過しても「発表申し込み受領並びに抄録原稿の様式と提出について」のメールが届かない場合は、下記連絡先までご連絡ください。

●電話での問い合わせ先：089-993-0702

聖カタリナ大学人間健康福祉学部社会福祉学科

分科会発表担当：秋山昌江、小木曾真司